

## 大阪市立 平野西 小学校



住所 〒547-0034 大阪市平野区背戸口 4-1-31

連絡先 ☎ 06-6702-0872 📠 06-6797-0361

校長 中元 浩二 開校 昭和 13 年

URL <http://swa.city-osaka.ed.jp/swas/index.php?id=e751721>

## 教育方針



本校には、「健全」・「努力」・「親和」という校訓があります。また、校歌の中にも「はげむ子よ、元気な集い平野西校」・「はげむ子よ、仲よい集い平野西校」・「はげむ子よ、よい子の集い平野西校」と歌われています。この校訓、校歌に描かれた子どもの像を理想として、教育を進めていきます。

## 教育目標

豊かな心を持ち、生きる力を身につけた子どもの育成

## 重点目標

- ・子どもたちが生き生きとしている学校づくりを推進する。
- ・一人ひとりの子どもに応じた基礎的、基本的学習内容の定着に取り組む。
- ・基本的生活習慣を身につけ、児童の自主的な活動を通して、集団としての自覚と、人間尊重を基礎とした行動ができるようにする。
- ・健康生活の基本的な習慣を身につけさせる。
- ・進んで課題を解決する子どもを育てる指導法を研究する。

## 運営に関する計画

## 【概要】

- 子どもが安心して学校生活を送り、落ち着いて学習できる環境を維持し、保護者・地域に信頼される学校をつくる。
- 確かな学力の定着を図る。そして、けがを減らすとともに、基礎体力の向上を図る。
- ルールに基づいた組織的な生活指導により、道徳心や社会性の育成を図るとともに、互いに認め合い支え合う仲間づくりをめざす。
- 学習ルールの徹底や読書指導に重点を置くとともに、ICTの効果的な活用と主体的、対話的で深い学びを目指した研究活動を通し、研修を深め、学力の向上を図る。
- 明るく整った環境を維持し、健康・体力の保持増進をめざす。

## 【年度目標】

## 【安全・安心な教育の実現】

- ・小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を80%以上にする。
- ・年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。
- ・小学校学力経年調査における「学校のきまりを守っていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を91%以上にする。
- ・小学校学力経年調査における「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を92%以上にする。

## 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ・小学校学力経年調査における、算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント(0.01)向上させる。
- ・小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を67%以上にする。

## 【学びを支える教育環境の充実】

- ・授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の70%以上にする。[ただし、事務局が定める学校行事等ICT活用が適さない日数を除く]
- ・第2期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準Ⅰを満たす教職員の割合を55%以上にする。

## 校長先生からのメッセージ

大阪市立平野西小学校は、昭和13年平野第二尋常小学校として開校した伝統のある小学校です。学校の正門を入ったところに校訓が書かれた碑が建っています。その碑には、「健全」「努力」「親和」と刻まれています。これは、お互いが健康であり、努力を惜しむことなく勉学に励み、仲よく学校生活を過ごしてほしいという願いで当時製作されたと思います。

この校訓は校歌の中にも歌われています。

「はげむ子よ、元気な集い平野西校」「はげむ子よ、仲よい集い平野西校」「はげむ子よ、よい子の集い平野西校」

今も昔も私たちが望む子どもの姿に変わりはありません。

現在、本校が掲げている学校教育目標は、『豊かな心を持ち、生きる力を身につけた子どもの育成』です。校訓、校歌に刻まれた本校にかかわってきたみなさまの思いとともに教職員一同前進してまいります。

今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

校長 中元 浩二

## R5年度「全国学力・学習状況調査」

国語	算数	
64	60	平均正答率(%)

### ●結果と概要

- ・国語の平均正答率は、大阪市平均より3%、全国平均より3.2%下回っている。
- ・算数の平均正答率は、大阪市平均より2%、全国平均より2.5%下回っている。
- ・平均無解答率は、国語が大阪市平均より0.3%、全国平均より1.6%低かった。算数は、大阪市平均より0.4%、全国平均より0.7%低かった。つまり、2教科とも、本校児童の解答率が比較的高い結果であった。
- ・学校生活については、「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う」に対する肯定的回答が97.9%と非常に高く、大阪市・全国と比較しても8ポイント強上回っている。「先生」の関わりが児童らに肯定的に捉えられていると考えられる。また、「人が困っているときは、進んで助けている」に対する肯定的回答も93.5%と高く、大阪市・全国ともに上回っている。しかし、「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」で最も肯定的な回答が8割に届かない結果であったことは大きな課題であると考えられる。また、「友達関係に満足している」に対する肯定的回答が、大阪市と全国より低いことから、児童らが自己の範疇を越えて他者と関わろうとする態度を育てていく必要があると考えられる。

### ●取組の成果と課題

**【国語】** 「言葉の特徴や使い方に関する事項」の領域で、大阪市と全国の平均を上回った。これは、漢字学習において、ドリルの学習に加え、熟語集めや短文作りをするノート学習によって、単に漢字を「覚える」のではなく、「使える」ようにするための取組みを重ねてきたことの成果と考えられる。一方で、大きな課題として挙げたのは、「書くこと」についてである。「図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる」問題では、大阪市と全国の平均を大きく下回った。本設問は、3つの資料をもとに文章を記述するものだが、本校児童の最も多い誤答例から考えると、文章による情報とグラフからの情報を関連付ける力に課題があるということである。

**【算数】** 「データの活用」の領域で、大阪市と全国の平均を上回った。中でも、示された表から必要な数を読み取ったり、2つのアンケート結果を合わせた表から条件に合う数を読み取ったりする設問において、大阪市と全国を上回っていた。「変化と関係」の領域においても、表から変化の特徴を読み取り、表の中の知りたい数を求めたりする設問において大阪市と全国の平均を上回っていた。このことから、目的に応じてデータの特徴や傾向を読み取ったりとらえたりする力が育成されていると考えられる。一方、大阪市と全国の平均を下回っている設問からは、国語科同様、設問文の内容と図の情報を関連付けて思考する力と、示された条件に則って解答する力に課題があることが分かった。

**【質問紙調査】** 本校では、毎学期に1回「いじめといのちについて考える日」を設定し、全校および各学年・学級で、いじめやいのちについて考える学習活動を実施している。こうした、人権意識を高める組織的な取り組みを継続していくことで児童の人権意識を高めていきたい。

## R5年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」

	握力 (kg)	上体起こし (回)	長座体前屈 (cm)	反復横とび (回)	20mシャトルラン (回)	50m走 (秒)	立ち幅とび (cm)	ボール投げ (m)	合計 得点(点)
男子	13.84	17.36	32.78	40.57	51.84	9.41	149.31	17.79	50.53
女子	14.21	17.15	39.10	17.70	37.53	9.78	143.42	11.62	53.11

### ●結果と概要

男子の結果では、体力合計点が全国を約2P、大阪市を0.6P下回った。実技別では、握力、上体起こし、ソフトボール投げが、全国・大阪市ともに下回った。一方、20mシャトルランと50m走は、全国・大阪市ともに上回った。女子の結果では、体力合計点が全国を約1P下回っているものの、大阪市を約1P上回った。実技別では、握力、上体起こし、50m走、ソフトボール投げが、全国・大阪市ともに下回る結果で、握力は男子と同じく全国との差が最も大きかった。一方、長座体前屈と20mシャトルランは、どちらも1P弱ではあるが、全国・大阪市ともに上回る結果となった。

### ●取組の成果と課題

日々の学校生活において外遊びを奨励している。昨年度は、5月からコロナ禍による制限が緩和されたこともあり、新たな取り組みとして運動委員会の児童らが中心となり、昼休みにフラフープ大会を実施した。また、外遊びに消極的になりがちな冬季の休み時間に、講堂でなわとび集会を実施することで、児童の運動量を確保できるようにした。しかし、運動やスポーツに対する嗜好に二極化の傾向が見受けられる。運動やスポーツを好まない児童もできるだけ楽しんで参加し、取り組めるような働きかけを児童らとともに考えて企画し、運営していきたい。児童の運動能力に大きな偏りが生じないように工夫し、今までの取り組みを更新しながら、児童の体力、運動能力のさらなる向上に努めていく必要がある。

## 学校の特徴



### 地域と合同で行う防災訓練

地域や保護者、区役所・消防署と連携し、防災訓練を行っています。今年度も、パネルや物資展示、消防車の見学、防災グッズ作り、煙中、水消火器、負傷者搬送、心肺蘇生法等、学年に応じた様々な体験活動を実施した後、保護者の方々の引き渡し訓練を行いました。

### 楽しいクラブ活動

原則、毎月第2木曜日の6時間目、4年生以上の子どもたちが参加してクラブ活動を行っています。クラブ活動は全員必修で、13のクラブ活動に分かれ、子どもたちが自主的に計画を立て、楽しみながら異学年の交流を行っています。

### 1年間を通した児童会活動

1～6年の児童が学年をこえて、たてわり班を編成し、様々な交流をしていましたが、コロナ禍のために活動の形態を変えて実施していました。しかし昨年度より、徐々にコロナ以前の活動を取り戻しています。たとえば、児童集会は、校内放送でのみの実施から、運動場でのたてわり班活動を取り入れています。また、6月実施の「平西フェスティバル」は、ペア学年の交流から各学級でお店を開き、たてわり班でお店巡りをする形態に戻し、全校で実施する形となりました。

